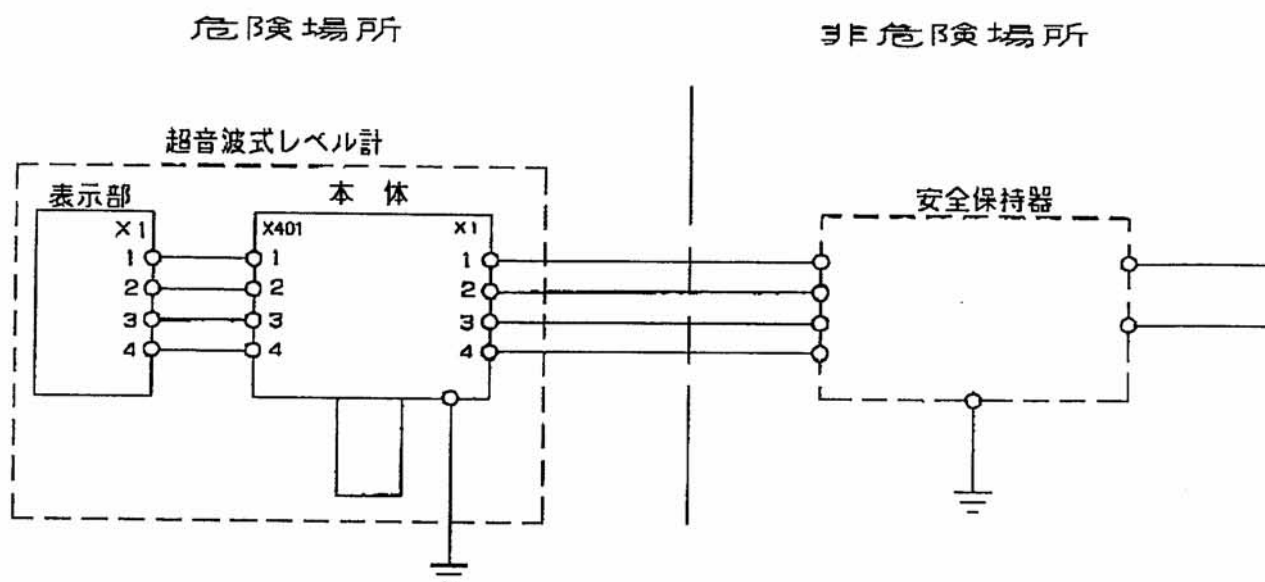


1. 超音波式レベル計は、以下に示すように構成して使用する。



2. 超音波式レベル計は、そのガス又は蒸気に触れるおそれのある部分の温度は60℃を、超えないように設置する。
3. 表示部を本体とは別の容器に収納して使用する場合は、表示部と本体間の接続ケーブルは、4芯のシールドケーブルを使用する。ケーブル長さは30m以下とし、 $Lw \leq 30 \mu H$ 、 $Cw \leq 6 nF$ とする。
4. 表示部を省略する場合または、表示部の機能を本体容器内に内蔵する場合があります。
5. 超音波式レベル計と接続して使用する安全保持器は、安全保持器のみで型式検定に合格したもので、以下の条件を満足するものとする。

(1) 安全保持定格

|          |         |
|----------|---------|
| 本安回路最大電圧 | 30V以下   |
| 本安回路最大電流 | 300mA以下 |
| 本安回路最大電力 | 1W以下    |

(2) 性能区分及びグループ

性能区分 ia  
グループ II C

(3) 本安回路許容インダクタンス及び本安回路許容キャパシタンスと本安回路外部配線のインダクタンス(Lw)及びキャパシタンス(Cw)との関係

本安回路許容インダクタンス  $> Lw$   
本安回路許容キャパシタンス  $\geq (13 nF + Cw)$



ZD 138F/00/ja/09.03/CCS



Control drawing  
960523-S001

Prosonic M FMU 40, FMU 41

Endress + Hauser  
The Power of Know How

